

# ドキュメント共有・ペーパーレス会議 スマートセッションご紹介

日本インフォメーション株式会社  
2016年4月1日

## はじめに ～ペーパーレス会議導入のメリット～

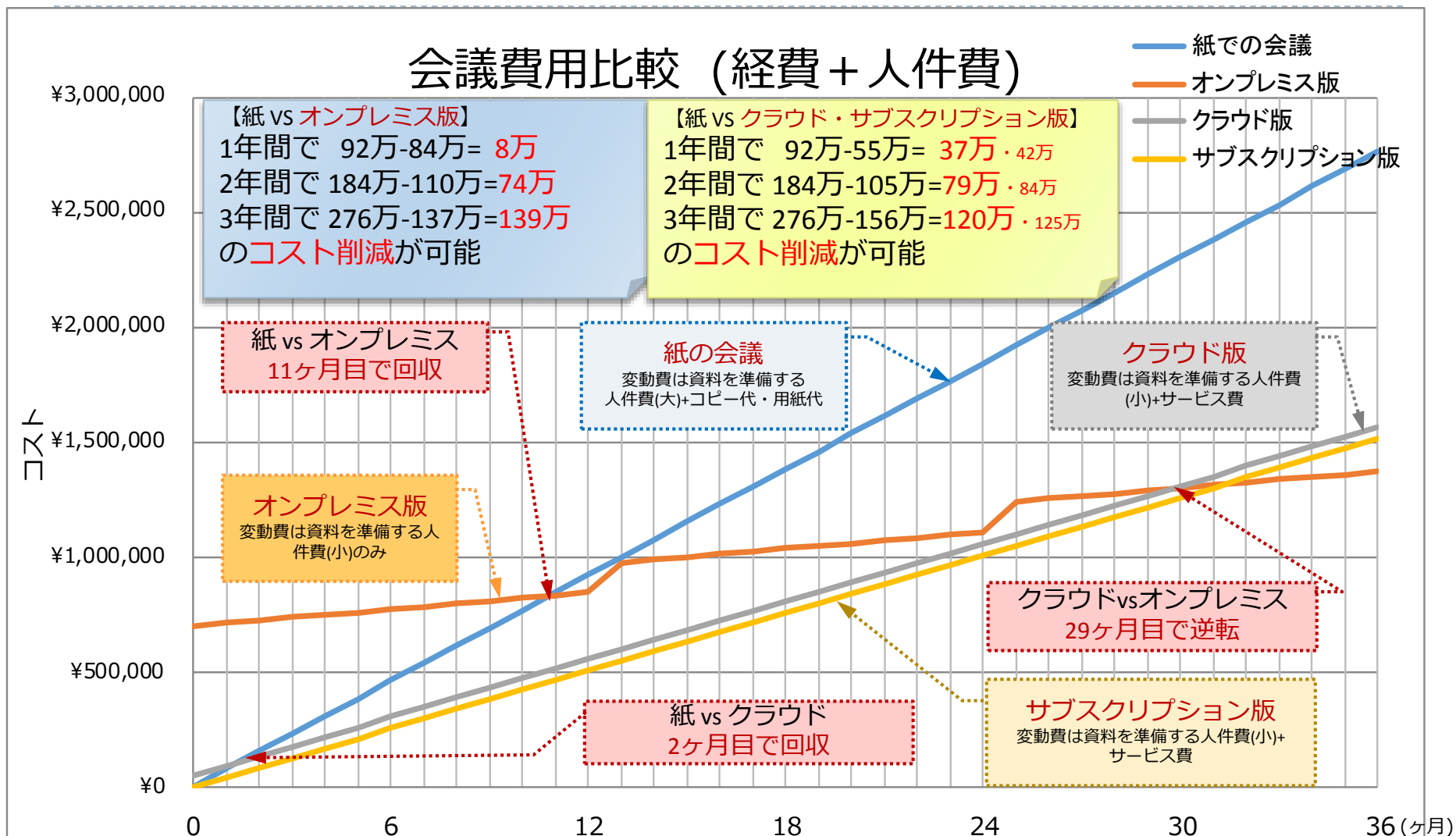
---

- 会議の準備に手間がかかりません
  - 印刷・製本・配布・回収が不要になり、直前の差替にも素早く対応できます
- セキュリティ面も安心です
  - 紙に印刷しないため、紛失や情報漏えいの心配がなくなります
- コストの削減
  - 紙のコスト、COPYのコスト、保管のコストのみならずその作業を行う人のコストを削減します

# 会議費用の比較

## 【前提条件】

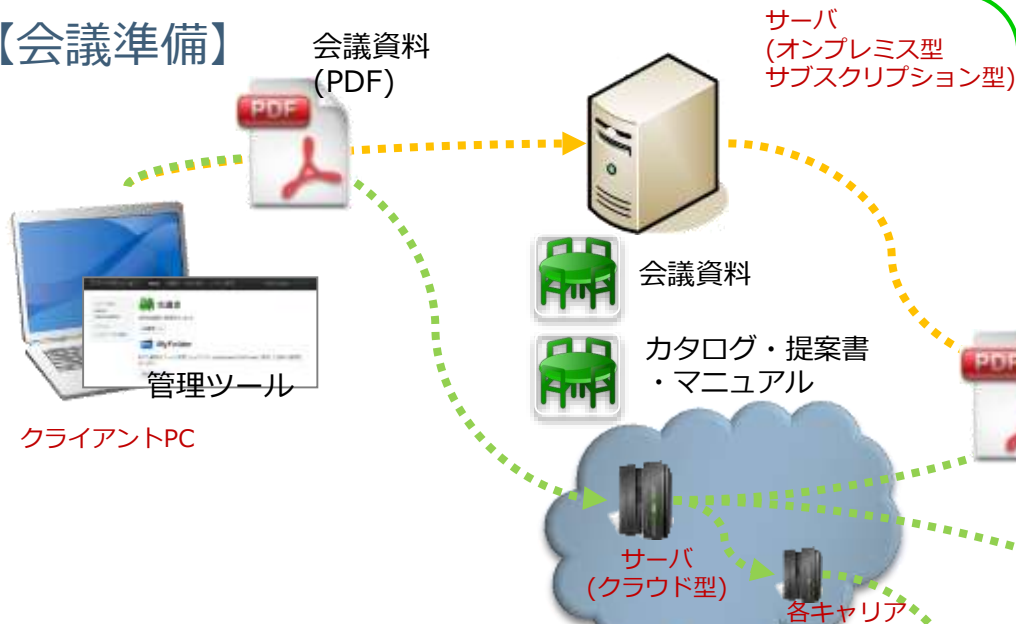
- ・20人の会議を毎週行い、1回100枚(内カラー20%)程度
- ・カラー @10円 白黒 @2円
- ・クラウド版は30,000円/月額(初期費用50,000円)
- ・オンプレミス版は2年目以降保守サービスが必要



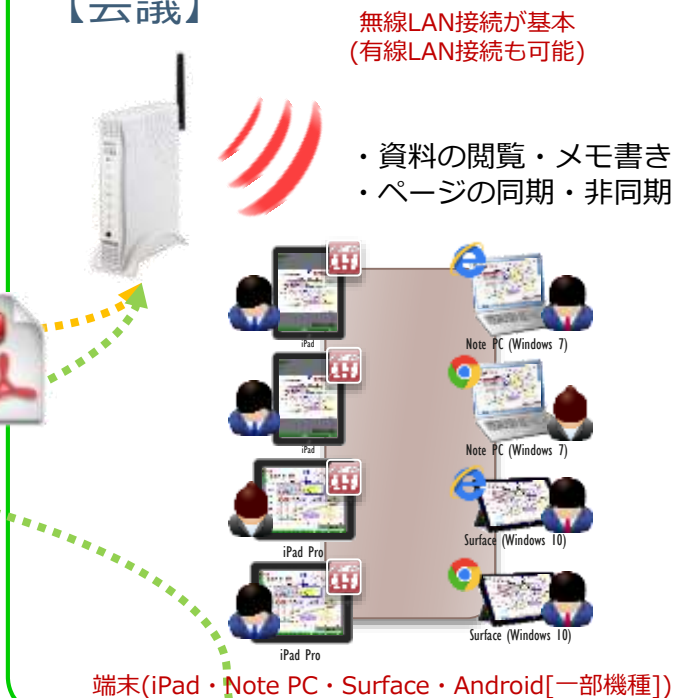
# タブレットを使用したペーパーレスとは

マルチデバイス対応

## 【会議準備】



## 【会議】



## 【ペーパーレス会議システムの主な特徴】

- ① 会議の参加者は手元の端末画面を使って資料を閲覧します。
- ② 会議資料(PDF)はサーバで一元管理するため、準備が簡単です。
- ③ 説明者の見ている資料は、参加者が操作しなくても参加者の手元の画面に表示することが出来ます。
- ④ 参加者は説明者の操作とは別に資料の拡大・縮小や他のページの参照が出来ます。
- ⑤ 端末には資料が残さず、メモ書き資料を取り出せますので、セキュリティも安心です。

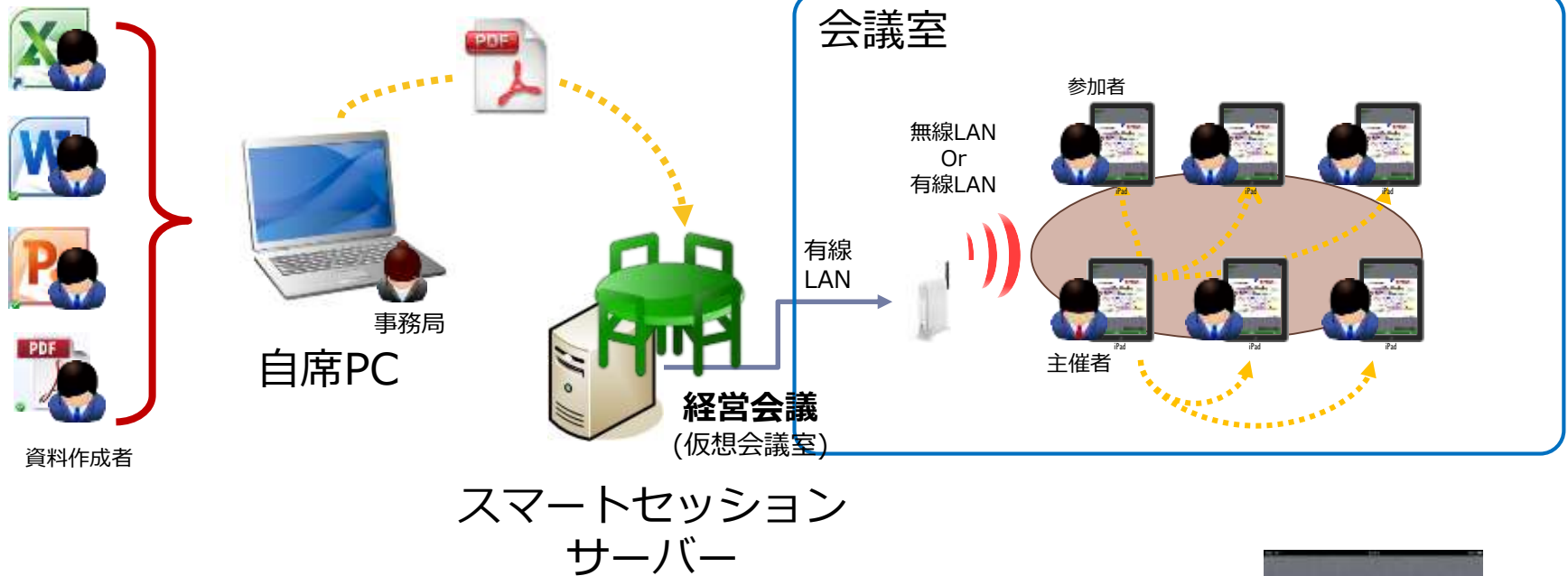


# スマートセッションの特徴

マルチデバイス対応

- ▶ 強固なセキュリティで端末に書類を残しません
  - ▶ 端末に書類を一切残さない運用が可能
  - ▶ ユーザーID・Passwordの認証と共に端末による認証(チケットの認証)を行うことで2軸による認証が可能 ios版
  - ▶ LDAP(AD)サーバーとユーザー認証の連携が可能(オプション)
- ▶ 導入規模に応じた柔軟な利用形態に対応
  - ▶ 自社内にサーバーを構築する**オンプレミス版**やインターネット接続環境で手軽に利用する**クラウド版**、双方の利点を生かした**サブスクリプション版**まで利用シーンに合わせて導入形態を選択可能
  - ▶ 会議室内にノートPCと無線AP、iPad・ノートPC等の端末を持ち込むことで社内のネットワークに接続することなく利用が可能(閉じたネットワークで利用可能)
- ▶ 多彩で豊富な機能
  - ▶ 参加者は誰でも説明者として**ページ連動**の主導を持つことが可能
  - ▶ 書類に**個人別メモ**が書き込め、サーバーの**個人領域(MyFolder)**に保存可能
  - ▶ 利用者のリテラシーに応じて利用方法を選択可能(**シンプルモード**) ios版
  - ▶ 豊富な**オプション**で機能拡張可能 ios版  
(メール送信、投票機能、ライブラリ機能、メッセージ機能)

# 主な利用シーン (経営会議・役員会議・教授会)



## 【役員会議・経営会議で使用】

- ① 事務局は資料をPDF化して「経営会議」に入れば準備完了
- ② 機密資料は端末にダウンロードできないためセキュリティー面でも安心
- ③ シンプルモードを使用すれば簡単に説明者のページが手元に表示  
(会議参加者は2タッチするだけ)



シンプルモード

# 1.簡単な操作

## ～通知による画面操作の同期～

- ①「通知」することで説明者の画面・操作が参加者の画面に反映
- ②参加者は自分で見たい資料・ページを自由に見ることも可能であり、また、参加者は独自に見やすい大きさに拡大して見ることも可能
- ③説明者は「通知」や「割込通知」によって簡単に切り替わることが出来ます

①説明者の画面・操作が送信されます

②参加者は独自に見やすい大きさに拡大することも可能

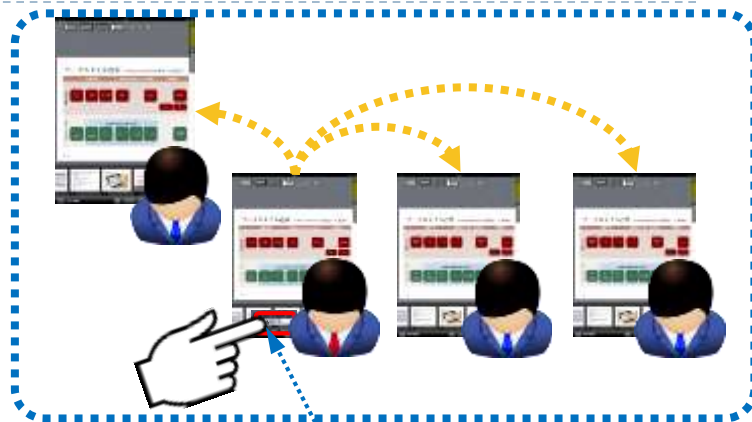
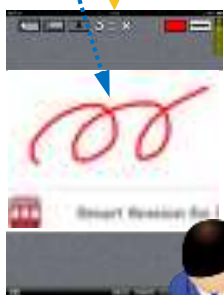
③説明者は簡単に切り替わることができます



通知



②参加者は独自に違うページや資料を見ることもできます



説明者(プレゼンター)が「通知」することで手書き・ページめくり・拡大・縮小などの操作が参加者の画面に同期されます

# 1.簡単な操作

## ～多彩な手書きモード～

【通常の手書き】  
書類に直接手書きすることが出来ます



手書きマーク

自由線、直線の切り替え  
が可能です

【拡大鏡手書き】  
拡大鏡の中に手書きすることが出来ます



拡大鏡手書きマーク

iOS版

【キーボード入力】  
書類にキーボード入力  
で文字を入力することが出来ます



キーボード入力マーク

背景色を設定することで付  
箋として利用できます

保存先は書類のセキュリティ  
レベルに応じて異なります

通常  
レベル



手書きマーク

Documents  
(端末内に保存)

オンライン専用



MyFolder  
(サーバーの  
個人別エリア  
に保存)

手書きしたメモはPDFに上書きして保存することが出来ます



## 2.柔軟なセキュリティ

- ①.端末に資料を残さない設定が可能です
- ②.セキュリティ設定により会議資料を守ります

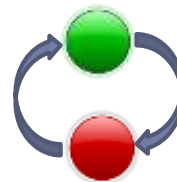
### 仮想会議室



- 【資料を限定】**
- 🔒 端末にはダウンロードできない書類の設定が可能です。
  - 🌐 ダウンロードできない書類は会議の開催中しか閲覧出来ません。



**【参加者を限定】**  
参加者として登録したメンバーのみが会議室に入室出来ます。



**【期間を限定】**  
主催者は会議室の時間帯だけ会議室をOPENし会議が終了したらCLOSE出来ます。資料の閲覧時間をコントロール出来ます



**【端末を限定】** iOS版  
サーバーと一対になる接続Ticketを持った端末しか会議室には入室できません。他者の侵入を防ぎます。

「会議室」に入室出来るのは

- ① 「参加者として登録」され、
- ② 「参加資格(有効なTicket)を持った端末 iOS版」から、
- ③ 「会議の開催期間」のあいだけ入室し資料を閲覧することが可能です。

チケットの発行はスマートセッションユーザーなら誰でも発行できるモードと、管理者権限のユーザーのみ発行できるモードがございます

# その他の利用シーン

## ①拠点間の会議で使用(TV会議と併用)



既存のTV会議システムと併用し、TV会議システムは映像・音声を担当し、「スマートセッション」は資料の表示と操作(ページめくり・手書き・拡大・縮小)を担当することで、離れた拠点間でもその場にいるように、発表内容が伝わりやすい会議を行うことが可能です。

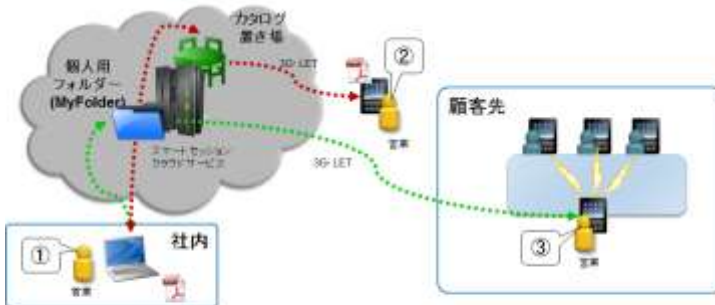
## ②ローカルネットワークで使用(会議室を移動)



### 【会議室を移動して使用】

- ① 会議準備はノートPCのLAN端子と接続したネットワークから各参加者がPDF化した資料をアップロード
- ② 会議時にはノートPC、無線LAN、iPadを会議を行う会議室に持ち込みローカルネットワーク内で会議を行う
- ③ 会議終了後、ノートPCは社内LANに接続し、各参加者は自席のPCがメモ付保存した会議資料を必要に応じてダウンロード

## ③客先でのプレゼンで使用(クラウド版)



### 【営業プレゼンで使用】

- ① 社内でプレゼン資料・カタログを自席PCからMyFolder・会議室へアップロード
- ② 外出先でカタログ類をiPadにダウンロード
- ③ iPadを使用してプレゼンテーション(別売 パーソナルエリア会議)

## ④社員研修・セミナーで使用(最大300台)



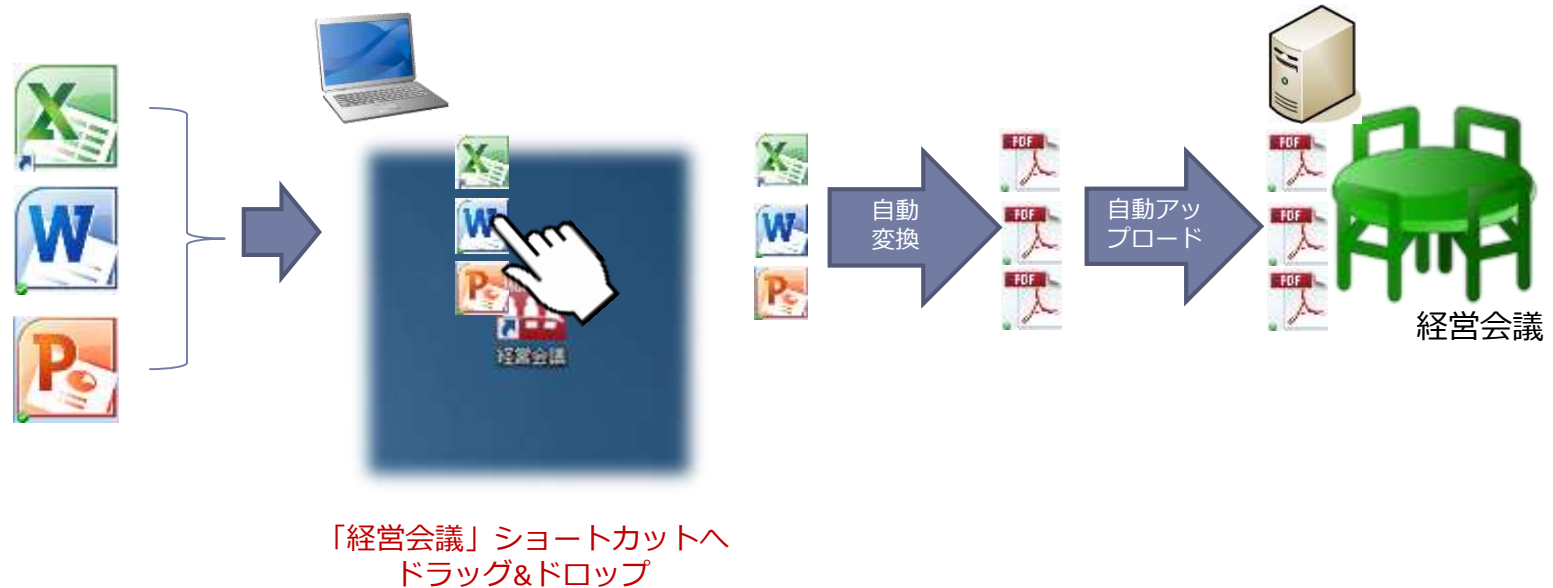
### 【社員研修・セミナーで使用】

- ① 講師のページは受講者の千元に表示される
- ② 受講者は自分の資料にメモ書きが可能
- ③ 最大50人～300人のページ操作の同期が可能

# 手間なく会議準備

～スマートセッションアップローダ～  
(付属ツール)

PC上のデスクトップに会議室のショートカットを作成し、そのショートカットにOfficeファイルドラッグ&ドロップするだけでPDF変換、会議室へのアップロードが行えます



【使用環境】  
Office2007以降  
.NET4.5以降

# 投票・採決機能(オプション)[Ver1.10.0]



投票機能選択

質問選択

自分も回答

結果表示

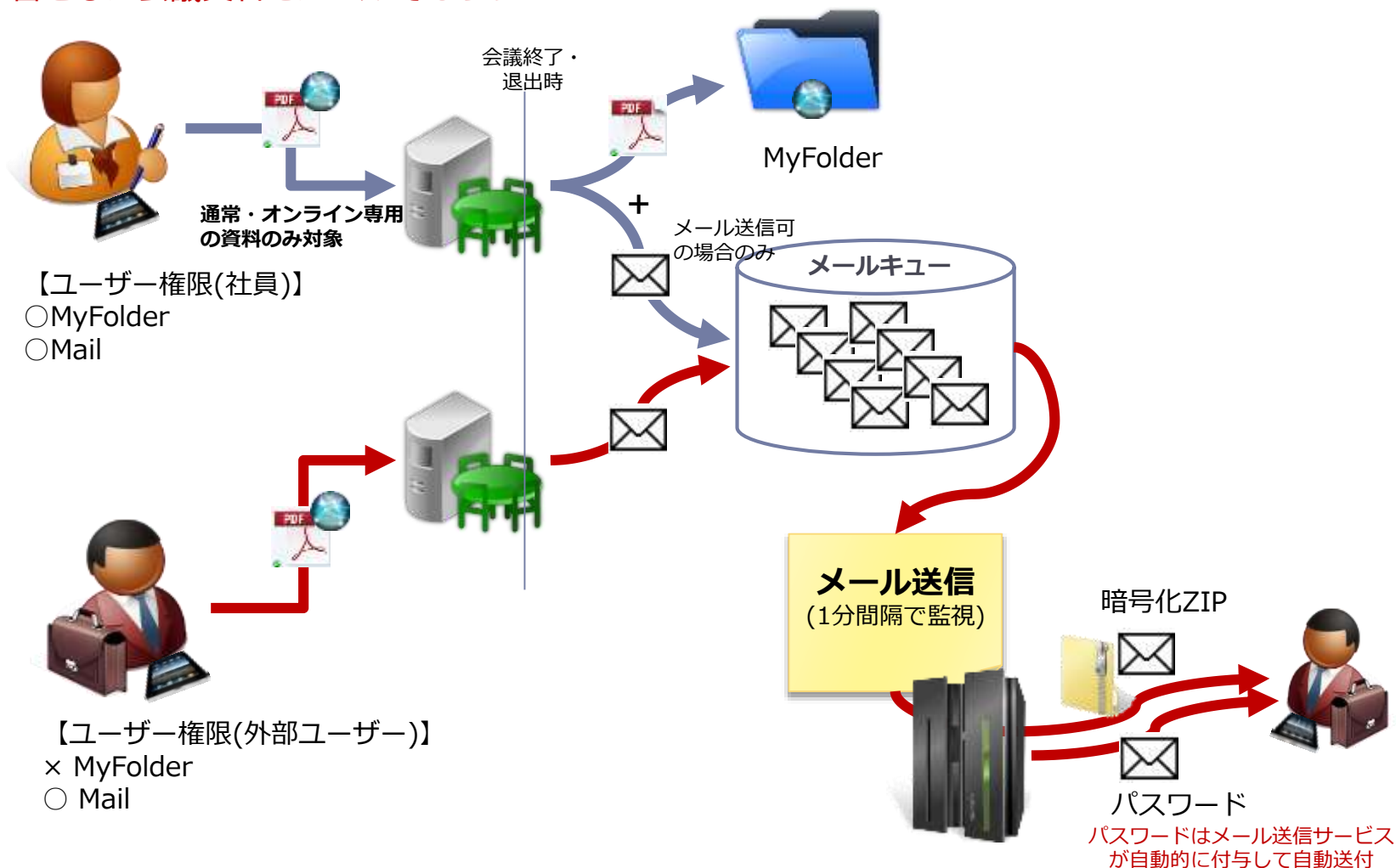


会議参加者

議題一覧		議題1	クリア
2人が投票			
是非導入したい		0	
トライアルを行いたい		1	
前向きに検討する		2	
保留		1	
今回は見送り		0	
複数選択			

# メール送信機能(オプション) [Ver1.11.0]

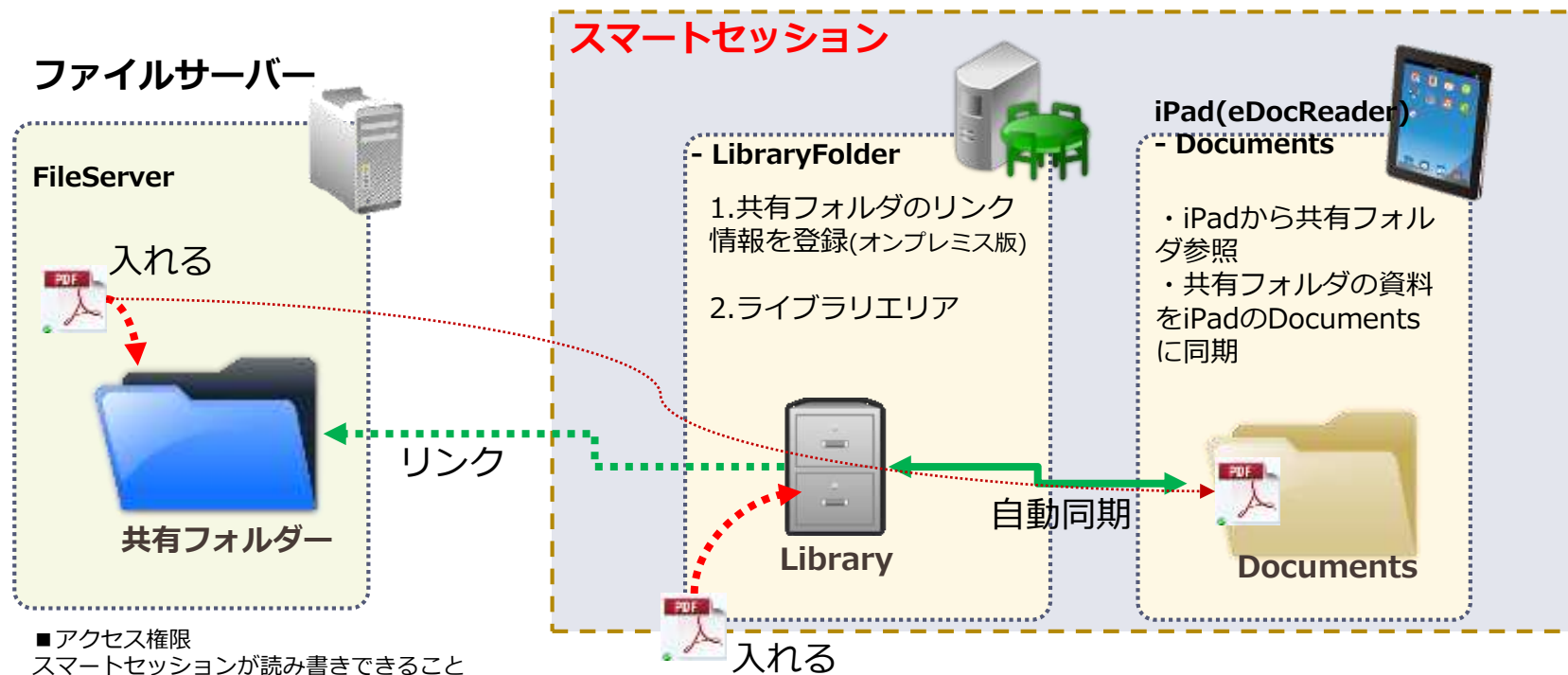
メモ書きした会議資料をメールでもらう!!





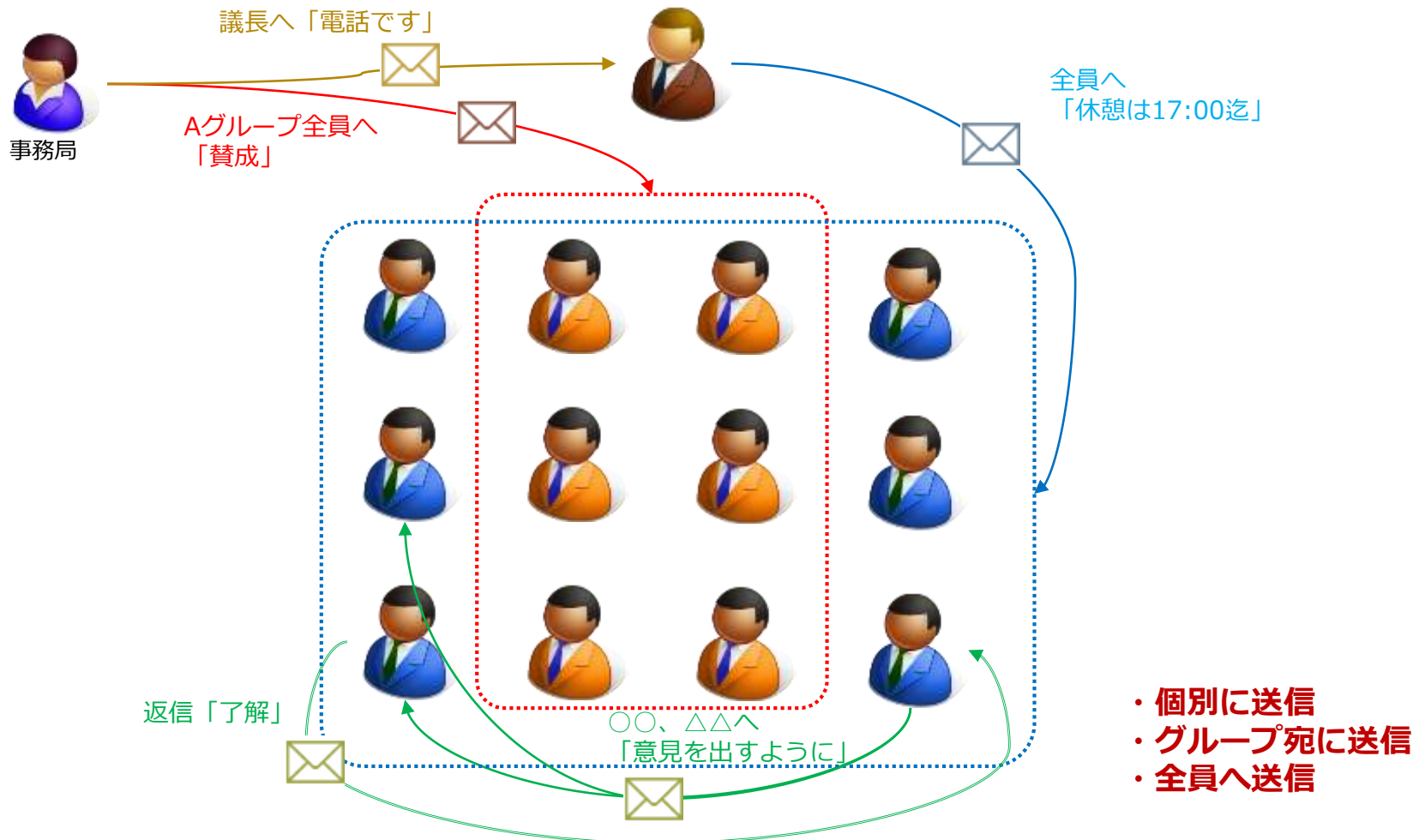
# ライブラリ機能(オプション) [Ver1.12.0]

- ・共有フォルダ・ライブラリエリアに資料を入れるだけでiPadから参照可能に!!
- ・共有フォルダ・ライブラリエリアの資料を差し換えるだけでiPadの資料は最新に!!  
(ログイン時に差分同期)



# メッセージ機能(オプション) [Ver1.14.0]

他の参加者にメッセージを送信することができます



# スマートセッションで出来ること①

マルチデバイス対応

## 仕様・環境

- サーバーOSはWindows7※1、WindowsServer2008R2以降、MacOS X 10.6以降、Linux(カーネル2.6以降)など各OSに対応しています。
- ユーザー登録数の上限はありません(ライセンスによります)
- 会議室数の上限はありません(導入形態により制限有)また、分類キーワードによって目的別や組織別に分類することが出来ます
- 1つの会議室内の資料数は最大2000~3000ファイル程度を目安としてください
- 資料は最大1GB迄(デフォルトは32MB)となります
- 最大同時接続端末数は50台~300台が目安です(無線環境によって左右されます)
- 端末はiOS版はiOS 7以降、Web版はIE11以降、Google Chrome、Firefox、Safari、Edge 等 (Web版は一部機能制限あり)また、Androidの一部機種でも動作可能です
- 管理ツール(eDocManager)はHTML5対応のブラウザ※2で使用可能です
- 資料はストリーミング配信が可能であるためサイズの大きな資料も高速に表示可能です **Web版**
- 有線LANの接続に対応しています。(端末がiPadの場合は別途、カメラアダプター3とUSB-Ethernet変換アダプターが必要です)
- Apple Pencilを利用する場合は手のひらを画面においても反応しない**パームレスト機能**が有効となりますので紙に近い手書き感覚となります **iOS版**

## 会議準備

- 会議資料の準備はPCのブラウザ経由で簡単に出来ます
- 「スマートセッションアップローダー」を利用することでOfficeファイルをドラッグ&ドロップするだけでPDF変換・会議室アップロードすることができます
- 会議室の中に過去資料も**分類して保管**できます
- 基本的な会議資料は**PDF形式**ですが、参考資料として他の形式(Office文書、iWork文書、**動画**、**画像**)のファイルも直接参照可能です(一部機能制限)
- 会議室を作成できるユーザーを限定することが出来ます(主催権限)

※1 Windows7はクライアントOSの為、Microsoft社のライセンス規約により最大20台までの接続となります

※2 HTML5対応ブラウザ IE7以降、GoogleChrome、Safari、FireFox、Opera 等 IEは一部機能制限があります。



# スマートセッションで出来ること②

マルチデバイス対応

## 会議中の基本操作

- 参加者は誰でも入室した会議室内資料を表示することが可能です
- 参加者はサムネイル表示や**目次表示(アウトライン表示)**により自由にページ移動が可能です
- 参加者は付箋やスターマーク(ブックマーク)により資料にしおりを挟みいつでもそのページに戻ることが出来ます
- 参加者はストックボタンにより説明者のページ(資料)を別のタブで開き表示することが可能です **iOS版**
- 参加者は自分の端末内の資料を**端末から会議室にアップロード**することが可能です **iOS版**
- 説明者のページ操作は参加者に同期されます
- 参加者は誰でも簡単に説明者としてページ操作の主導権を取得することが可能です。
- 参加者の中で説明者になれない(ページ操作の主導権を握れない)参加者を作成することが可能です
- 説明者の説明中に書いた手書きメモは参加者の端末にも表示されます
- 説明者のページは参加者に同期しないように参加者側で設定が可能です
- 参加者は説明者とは別に先読み、読み返しが出来ます
- 参加者は**説明者とは別の資料を見る**ことが出来ます
- 参加者は**タブ切り替え**により複数の資料を**瞬時に切り替えて**表示することが可能です(通常モード) **iOS版**
- 参加者は資料にメモ書き(手書きメモ、**拡大鏡メモ、キーボード入力**)をする事が出来ます(Web版は拡大鏡メモなし)
- 参加者は資料に「スターマーク」を付けることで後からそのページへジャンプしやすくなります
- メモ書きは参加者の端末内に保存し会議終了後でも参照することが出来ます **iOS版**
- メモ書きは参加者の端末内に保存せず、サーバー側の個人フォルダーに保存することが可能です(PDF形式)
- 会議終了後でも、資料を持ち帰り見直すことが出来ます
- **ホワイトボードなどの写真を撮り、会議資料として端末からその場でPDF化し共有**可能です **iOS版**
- 会議中に書類の追加が可能です
- 会議中はリアルタイムに**会議費用の表示**が可能です **iOS版**

# スマートセッションで出来ること③

マルチデバイス対応

## 多様性

- 社内のネットワークに入ることなく会議室に閉じたネットワークを構築しクローズされた中での運用が可能です
- 通常モードとシンプルモードの切り替えが可能で利用者の熟練度に応じた使い分けが可能です **iOS版**
- 拠点が離れていても同期が可能です
- 外出先からも3G・LTE回線・VPN経由で利用可能です(推奨利用は300Mbps以上のWiFi接続)
- 端末アプリは単体でも表示ツールとして利用できます **iOS版**
- 端末にダウンロードされた資料は他のアプリで開いたり、メールで添付して送信することが可能です **iOS版**
- サーバーがなくても端末同士をWiFiで接続しパーソナルエリア会議で同期が可能です(別途費用) **iOS版**

## セキュリティ

- マルチプロファイルにより端末を複数用途で切り替えて使用可能です **iOS版**
- 書類単位に3種類のセキュリティレベルを指定できます(端末に書類をダウンロードさせない事も可能です)
- 会議室には登録された人しか入れません
- 会議室は決まった時間(OPEN中)しか入れません。主催者がOPNE/CLOSEを行います。
- 会議室は決まった端末からしかアクセスできません(通常版チケット) **iOS版**
- LDAP(AD)連携を行うとログイン認証はLDAP(AD)サーバーと連携します(オプション)(オンプレミス・サブスクリプション)
- サーバーと端末の間の通信経路はSSLにより暗号化されています(クラウドサービス)
- 会議資料は暗号化されデータベース内に保存されています
- MyFolderは会議室サーバーとは別のサーバーに構築することが可能です(オンプレミス・サブスクリプション)
- システム管理者でも会議室に入室できないライセンスや全メンバーのMyFolderを監視できるライセンスがあります(導入時にライセンス選択)

# 導入費用

- ※1. 価格・仕様は予告なく変更となる場合がございます。
- ※2. クラウド版・サブスクリプション版は最低契約月数は2ヶ月となります
- ※3. クラウド版は申込月に初期費用、翌月より月額費用が発生します。  
(申込日が1日の場合は申込月に初期費用・月額費用が発生します)
- ※4. サブスクリプション版は申込月より月額費用が発生します
- ※5. クライアントライセンスは購入時に通常版・ゲスト版・Web版を選択します。  
また、追加購入時は10ライセンス以上から(クラウド版は10ライセンス単位)

初期費用

ランニング費用

オンプレミス版	<p><b>サーバー費用</b></p> <p>✓サーバーライセンス <b>¥300,000</b></p> <p>✓構築支援費用 <b>別途</b></p> <p>※ 構築支援費用はSE作業で発生する 交通費・宿泊費を含みます</p>	<p><b>クライアントライセンス費用</b></p> <p>クライアントライセンス※5 (通常版/ゲスト版/Web版) <b>¥20,000-</b></p> <p>通常版 iOS端末固定のライセンス ゲスト版 iOS端末の同時接続台数ライセンス Web版 同時接続ユーザー数ライセンス</p>	<p><b>オプション</b></p> <p>✓LDAP連携(ログイン認証) <b>¥200,000</b> ✓投票機能 <b>¥150,000</b> ✓メール送信機能 <b>¥100,000</b> ✓ライブラリ機能 <b>¥200,000</b> ✓メッセージ機能 <b>¥150,000</b></p> <p><b>年間保守サービス(必須)</b></p> <p>保守サービス(2年目以降) <b>¥120,000</b></p>
	<p><b>初期導入費用</b></p> <p>✓なし</p>	<p><b>月額使用料</b></p> <p>(20チケットパック) <b>¥30,000</b> (50チケットパック) <b>¥60,000</b> (100チケットパック) <b>¥90,000</b></p> <p>1チケット ¥1,500 ※5</p>	<p><b>オプション(月額)</b></p> <p>✓LDAP連携(ログイン認証) <b>¥15,000</b> ✓投票機能 <b>¥10,000</b> ✓メール送信機能 <b>¥10,000</b> ✓ライブラリ機能 <b>¥15,000</b> ✓メッセージ機能 <b>¥10,000</b></p>
クラウド版	<p><b>初期導入費用</b></p> <p>✓専用タイプ <b>¥100,000</b></p> <p>✓共用タイプ <b>¥50,000</b></p> <p>※2 ※3</p>	<p><b>月額使用料</b></p> <p>【専用タイプ】 【共用タイプ】</p> <p>・基本 <b>¥75,000</b> <b>¥30,000</b> ・ライセンス※5 50枚 20枚 ・HDD 10GB 1GB ・会議室 無制限 3室</p>	<p><b>オプション(月額)</b></p> <p>✓チケット 10枚 <b>¥15,000</b> ✓HDD10GB (専用のみ) <b>¥10,000</b> ✓会議室 5 (共用のみ) <b>¥10,000</b> ✓投票機能 <b>¥10,000</b> ✓ライブラリ機能 <b>¥20,000</b> ✓メッセージ機能 <b>¥10,000</b></p>

# 導入実績

---

## ▶ 販売期間・実績

- ▶ 2011年7月～2016年3月 **【136社、163サーバー、7,464ライセンス】**

## ▶ 導入企業・学校

- ▶ 萩原電気株式会社 様
- ▶ 株式会社 TBSテレビ 様 (**事例参照**)
- ▶ 国立大学法人 福岡教育大学 様
- ▶ 生活協同組合 コープみえ 様
- ▶ 千葉スバル自動車株式会社 様
- ▶ スタンレー電気株式会社 様
- ▶ 株式会社トッパングラフィックコミュニケーションズ 様
- ▶ 三菱重工業株式会社 様
- ▶ 三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社 様
- ▶ 大津市議会 様
  
- ▶ その他 大学、製造業、商社、食品、医療 など 多数

# (事例) TBSテレビ様

## ▶ 用途

- ▶ 局内20数会議

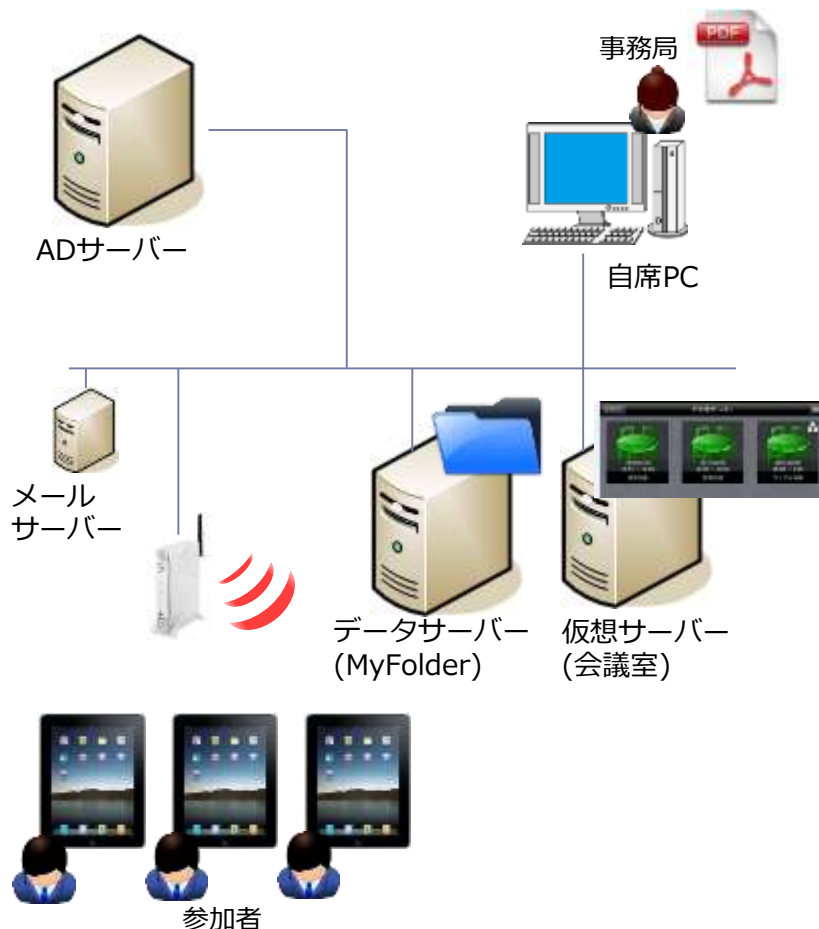
## ▶ 導入規模・時期

- ▶ 2012年3月導入
- ▶ サーバー(仮想サーバー) 5台
- ▶ 端末 500台
- ▶ ゲストチケット 40枚

## ▶ 導入経緯・使用方法

- ▶ 会議のスケジュールに合わせてiPadの貸出しと使用会議室の管理を行っており、AD連携やMyFolderなどほぼフル機能を使用している
- ▶ 外部のゲスト参加者には自動送信メールで資料を配布

## 接続イメージ



# 導入事例 (企業・議会・大学)

## TBSテレビ (ホワイトペーパー)

### 印刷費削減と業務効率化を目指したペーパーレス会議システムを導入

本報で取り上げられている事例。そこで取り上げられる事例は最大限のメリットを得ており、そのシステム導入の成功事例として紹介されています。本紙では、導入の一歩の印刷コストを削減して業務効率化に貢献することを目的として、そのシステム導入の成功事例を紹介しています。本紙では、導入の一歩の印刷コストを削減して業務効率化に貢献することを目的として、そのシステム導入の成功事例を紹介しています。

#### 印刷コストの削減と会議業務の効率化を実現

本紙では、導入の一歩の印刷コストを削減して業務効率化に貢献することを目的として、そのシステム導入の成功事例を紹介しています。本紙では、導入の一歩の印刷コストを削減して業務効率化に貢献することを目的として、そのシステム導入の成功事例を紹介しています。

#### 経営陣の多忙に合わせたモバイル対応

### 「スマートフォン」システム導入

本紙では、導入の一歩の印刷コストを削減して業務効率化に貢献することを目的として、そのシステム導入の成功事例を紹介しています。本紙では、導入の一歩の印刷コストを削減して業務効率化に貢献することを目的として、そのシステム導入の成功事例を紹介しています。

### 印刷費削減と業務効率化を目指したペーパーレス会議システムを導入

#### より多くの人に、より便利に。さらなる活用を目指して

NIC日本インフォメーション株式会社  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-5561  
FAX: 03-5561-5562  
E-MAIL: info@nic-jp.com  
http://www.nic-jp.com

## 大津市議会



## 福岡教育大学

福岡教育大学では、平成24年度から各部署において、会議の効率化を目的としてモバイル対応のペーパーレス会議システムを導入しました。

このシステムは、教職員個人のPCにおきかえ用紙による会議資料の印刷を削減し、紙の消費量を削減することができ、環境に配慮することになり、会議の効率化が可能となるのが特徴の一つです。また、会議資料をサーバーにアップロードすることで一元管理することができ、いつでもどこでもアクセス可能な環境が実現し、会議の資料の閲覧も容易になります。作業時間も大幅に短縮されました。さらに、会議資料をサーバー上に存在するだけでなく、モバイル端末でも閲覧できるため、情報漏洩などのリスクを軽減することができます。セキュリティも徹底的に確保されています。

作務面から印刷コスト削減だけでなく、業務も、業務効率の向上も同時に実現し、思ったより簡単な導入でした。会議を運営する担当者からも「システムも使いやすくて、会議の準備も内付けが楽になりました」と評価されています。作業面でも、資料の閲覧が可能なため、会議の準備も内付けが楽になりました。

今後、モバイル対応の会議システムを導入することで、会議の効率化も期待され、会議担当者の業務負担の軽減やコスト削減などのメリットも期待され、さらなる活用が期待されています。



# 主な利用用途

	業種・業態	利用目的
1	金融機関	理事会、役員会議等で利用
2	学校	理事会、教授会、学部会議、授業等で利用検討
3	公共	局長会議、市議会、局内会議
4	病院・医療関係	教授会、研修
5	通信キャリアからの紹介案件	経営会議、役員会議、部内会議、社員教育、セミナー、株主総会、記者発表等で利用検討
6	その他 (直販・販売代理店からの紹介)	

# まとめ

SmartSessionは「簡単・安心・便利」な  
ペーパーレス会議を実現します  
社内で行う「**ワークフロー改革**」の  
第一歩として最適なソリューションと  
なっております。

## 【お問い合わせ】

製品開発部      担当 幸村(こうむら)・河野(こうの)

[TEL:052-741-8753](tel:052-741-8753)    Email : [prodev@nicnet.co.jp](mailto:prodev@nicnet.co.jp)